

# みんなで築こう 活力ある長寿社会

9月18日は「敬老の日」です。そして、15日から1週間「老人週間」です。

この機会に高齢者問題や高齢者福祉について考えてみましょう。

高齢者を取り巻く環境は、少子高齢化の進行に加え、戦後の高度成長期に青年期を過ごした「団塊の世代」と呼ばれる世代が、今後新たに加わることにより急速に高齢化しようとしています。

また、高齢化は、高齢者の生活様式、考え方、価値観に一層の多様化をもたらす今後、高齢者を取り巻く環境に大きな変化をもたらすと考えられます。

このような状況の中で、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って、すこやかで暮らすことができるための社会を築くために、保健・医療・福祉をはじめ社会参加、教育・学習、雇用・就業、生活環境など幅広い分野において町はもとより、地域社会、家庭、個人及び企業が相互に協力し合ひましょう。

## キャンペーンが目指す5つの目標

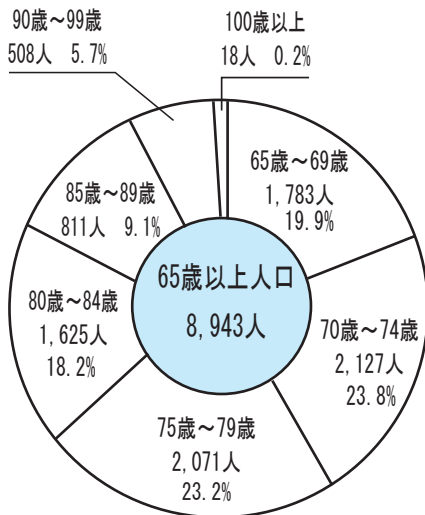
- 一、すべての高齢者が安心して自立した生活ができる、保健・福祉のまちづくりを進め、ふれあいの輪を広げよう。
- 二、高齢者の知識、経験や能力を生かした、就労・社会参加・ボランティア活動を進めよう。
- 三、高齢者の介護予防、生きがい・健康づくりへの取り組みを進めよう。
- 四、高齢者の人権を尊重し、「認知症」と介護問題をみんなで考え、高齢者や介護者を支える取り組みを積極的に進めよう。
- 五、高齢社会における家族や地域社会等の役割を理解し、お互いに協力して活力ある長寿社会をつくらう。

## さつま町の高齢化の現状

平成18年7月末における高齢化率は34.5%を占め、その比率は年々高くなってきています。

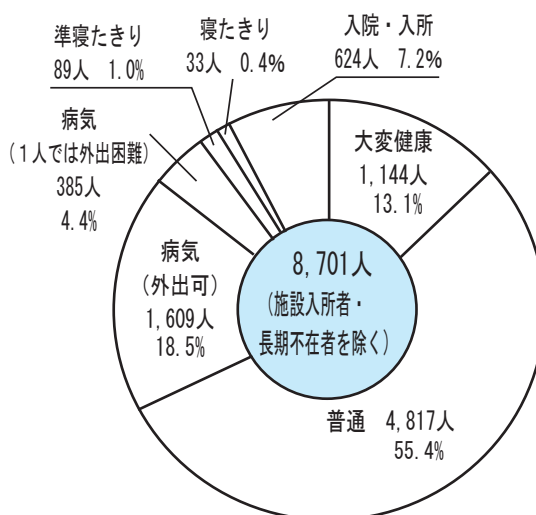
また、本町全高齢者の五人に一人がひとり暮らしの生活を行っているなど、高齢者の生活状況を家族のみならず、地域の方々と一体となって見守っていかねばならない状況になっています。

### ●年代別高齢者の割合



平成18年7月31日現在

### ●在宅高齢者の健康状態



調査期間 平成18年5月17日～7月7日

老人クラブ活動や在宅福祉アドバイザーによる積極的な声かけや、高齢者が自主的に仲間づくりに参加できるふれあいサロン事業等、高齢者が地域の中で孤立せず、社会とふれあっている事業の展開をすすめてまいります。



## 敬老祝い金(商品券)の支給

町では、長寿を祝福するため80歳到達者と90歳到達者に長寿とこれからの益々のご健勝を祈念して敬老商品券をお贈りいたします。

敬老商品券は、各地区で開催されます敬老行事の受付でお渡しします。印鑑を持参して受領してください。(詳細については公民会長を通じて有線放送でお知らせします。)

この商品券は、町内であればどこのお店でも使用することが出来ます。有効期限は、平成19年2月末日までです。お早めにご利用ください。

なお、商店の方は毎月3回(10日・20日・月末日 ※土・日・祝日のときはその前日)午前10時から午後3時まで商工会で換金できます。

### 【対象者】

- 9月30日現在で、80歳到達者 大正14年10月1日～大正15年9月30日生
- 90歳到達者 大正4年10月1日～大正5年9月30日生

### 【敬老商品券の額】

- 80歳到達者 5,000円
- 90歳到達者 20,000円

### 詳細については、

- さつま町役場 ☎11111
- すこやか長寿課高齢者ふれあい係 (内線2171)
- 鶴田総合支所町民福祉課福祉介護係 (内線4113)
- 薩摩総合支所町民福祉課福祉介護係 (内線6122)